



## 夏休み自由研究作品展



綾小・中学校の児童・生徒による「夏休み自由研究」作品が9月28日～10月4日、てるは図書館に展示されました。自由研究は夏休みに課題となっていたもので、「カブトムシの生存率」「地球に還るプラスチック」「カビの生え方とカビを防ぐ方法」など身近にあるさまざまなテーマに基づいた観察結果や分析などが写真やイラスト、グラフなどとともに模造紙にまとめられています。

ユネスコエコパーク推進室は、自由研究を発表する機会を毎年設けることで、子どもたちの自然や生き物に対する感覚が豊かになったり、興味や理解が深まったりすることを期待し、昨年からは小・中学校の協力を得て優秀な作品を選び、サイエンスコンクールへの応募を推進しています。今年は小・中学生合わせて3つの自由研究が宮崎地区サイエンスコンクール（みやざき科学技術人材育成推進委員会主催）に提出されました。

日ごろから学校生活や日常生活で動植物や自然環境について気になると・ふしぎに思うことがあったらメモをし、本やインターネットなどで調べてみ

ましよう。学校の先生方やエコパークセンタースタッフに尋ねてみるのもいいですね。好奇心で目を輝かせる子どもたちからの鋭い質問やユニークな意見を楽しみにしています。



### 綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター

☎77-3482 URL <https://ayabrcenter.jp>

※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館

感染症の影響による休館などの情報はホームページで随時更新します

## column

### ヒメタニシ

大きさが2〜3cmと日本のタニシの仲間の中では最も小さい貝です。田んぼやため池、水路などやや汚れた水辺を好んで生活しています。川底に堆積している沈殿物や藻類などを食べることから、水の汚れを防ぐ役割をしていると言われています。

「卵胎生」という繁殖方法で、卵ではなく小さな貝を生みます。殻は薄茶色から薄緑色ですが、殻の先端は削れて白っぽくなります。

もともと南の地域にいた本種は年々、分布が北へと拡大しており、以前見られなかった東北・北海道まで広がっています。鳥や人間によって運ばれたのか気候変動の影響なのか。その原因は未だ謎に包まれています。

